



第4回透析運動療法研究会 開催報告

The 4th Annual Meeting of the Japanese Society of Exercise Therapy for Dialysis Patients

透析患者に対する運動療法のすすめ ～個々の患者に合った適正な運動療法とは？～

前日の2月15日(土)、関東地方は観測史上最大の大雪に見舞われ、航空機の欠航が相次ぐなど交通機関が大変混乱しましたが、多数の方々にご参加いただきありがとうございました。

〈第4回透析運動療法研究会 概要〉

◇参加者 244名 (スタッフを合わせて280名)

◇一般口演 12題

◇講演

ランチョンセミナー、特別講演、教育講演、レクチャーと実習、ワークショップ、シンポジウム



日時：2014年2月16日(日) 8:50～16:05

場所：東京女子医科大学弥生記念講堂

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

大会代表幹事：峰島 三千男 東京女子医科大学臨床工学科
大会事務局：崎山 亮一 同上

大会プログラム

第1会場（弥生記念講堂）	第2会場（臨床講堂1）
<p>8:50～ 開会のあいさつ 会長 大平 整爾（札幌北クリニック）</p>	
<p>9:00～9:50 特別講演Ⅰ 「透析患者への運動療法 ー運動処方の実際ー」 座長：峰島 三千男（東京女子医大） 講師：平松 義博（古賀病院21）</p>	<p>13:30～14:30 一般口演Ⅰ 座長：森山 善文（名古屋共立病院）</p>
<p>10:00～10:50 レクチャーと実習 「体力測定による運動処方」 講師：松嶋 哲哉（賀茂クリニック）</p>	<p>1. 血液透析患者の導入後の下肢筋肉量の変化 庄司 繁市（仁真会白鷺病院診療部）</p>
<p>11:00～12:20 ワークショップ 「透析運動療法の有効性とリスク管理」 座長：庄司 繁市（白鷺病院） 松嶋 哲哉（賀茂クリニック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析患者さんにおける運動療法の有効性と安全性 松嶋 哲哉（賀茂クリニック） ・運動療法の導入率と継続率を高める工夫 武居 光雄（諏訪の杜病院） ・透析患者の運動療法に特有のリスクとその対応 安藤 康宏（自治医科大学附属病院透析部） ・末梢動脈疾患の1次・2次予防における 透析運動療法の可能性とリスク管理 佐藤 元美（社会保険中京病院） 	<p>2. 当院透析患者の身体活動(P A)量変化に関する検討 佐々木 廉雄（小山すぎの木クリニック）</p> <p>3. “ぐるりんウォーク”（当院屋内の周回歩行：GW） の試み ～透析後起立性低血圧に対する施設内歩行の 有用性に関する検討～ 川田 松江（小山すぎの木クリニック）</p> <p>4. 透析患者へ運動療法の動機づけにイージウォーク を実施して 井筒 美貴（大誠会 大垣北クリニック）</p> <p>5. 閉塞性末梢動脈疾患を合併した血液透析患者に おける歩行運動療法の新たな取り組み 露木和夫（小田原循環器病院生理学研究室）</p> <p>6. 運動習慣定着に向けた取り組み 早乙女 裕之（橋本医院）</p>
<p>12:30～13:15 ランチョンセミナー（ニプロ株式会社共催） 「今日から出来る生活習慣病予防 ー反復一週間減塩法を含めてー」 座長：天野 泉 （名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所） 講師：渡辺 尚彦 （東京女子医科大学東医療センター）</p>	<p>14:30～15:30 一般口演Ⅱ 座長：佐藤 元美（社会保険中京病院）</p>
<p>13:20～14:20 教育講演 「超高齢社会におけるロコモティブシンドローム対策の重要性」 座長：大平 整爾（札幌北クリニック） 講師：中村 耕三 （国立障害者リハビリテーションセンター）</p>	<p>7. 起立-着席訓練による入院透析患者の歩行能力と ADLの改善 峯浦 達雄（羅寿久会 浅木病院 リハビリテーション部）</p>
<p>14:20～16:00 シンポジウム 「透析運動療法を展開するための方法論」 座長：安藤 康宏（自治医科大学附属病院透析部） 武居 光雄（諏訪の杜病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動サポートチーム 武居 光雄（諏訪の杜病院） ・栄養学的サポート 加藤 明彦（浜松医科大学血液浄化療法部） ・楽しく続けるコツ 安藤 康宏（自治医科大学附属病院透析部） ・透析患者に応用できるリハビリテーション医学の各種手法 の紹介 庄司 繁市（白鷺病院） <p>追加コメント：保険制度への提案 武居 光雄（諏訪の杜病院）</p>	<p>8. 透析中のサイクル運動を適正な運動負荷量で実施 した結果 松本 将志（大誠会 松岡内科クリニック）</p> <p>9. 血液透析(HD)患者3名における 2年間のリハビリテーション（リハ）介入の経過 菅原 雄太（会田病院リハビリテーション科）</p> <p>10. 透析患者へのリハビリテーション ～リハビリテーション実施の現状と課題～ 本田 一弘（尾形クリニック）</p> <p>11. 血液透析患者の栄養障害リスクを予測するための 身体機能評価指標 河野 健一（愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科）</p> <p>12. 腎不全保存期からの運動療法提言 綿貫 聖（光心会 諏訪の杜病院）</p>
<p>16:00～16:05 閉会のあいさつ 大会代表幹事 峰島 三千男（東京女子医大）</p>	